

## 一般質問通告書要旨

清新クラブ 5 番議員 高阪康彦

(1 問目) 街路灯 LED 化に助成は出来ないか。

さて、最近では、環境、エコと云う言葉をよく耳にします。それは、前世紀 20 世紀は、大量生産、大量消費の時代だったといわれ、工業技術の発達で自然環境に大きな影響を与えるようになり、工業先進国の各地で工場廃液による汚染など、環境破壊、公害問題などが表面化しました。今世紀に入り、この問題を解決する学問分野として生態学（エコロジー）が注目されるようになりました。近年では、エコロジーは、人間生活と自然の調和、を表す考え方と理解されています。このように、現代は、環境、エコロジーが、時代のキーワードとして重要視されています。

我が国では、温室効果ガスの削減に取り組んだ京都議定書、自然環境の保護に取り組んだ、つい最近名古屋で行われた COP10 の名古屋議定書など、環境先進国を目指しています。私達が身近に感じた事では、政府が行ったエコポイント制度がありました。恩恵を受けられた方も大勢おられると思います。又、省エネルギーで環境に良い、ハイブリッド車が、好調に販売されていますし、最近ではもっと環境に良い電気自動車が注目を集めています。このように時代背景として、官民挙げて、環境、エコロジーの対策に取り組んでいます。又、この分野は次世代の産業としても有望視され、期待をされています。

本題に入ります。

街路灯は商店街を明るくし、防犯も兼ね、商業を活性化する目的で建てられています。昔はその姿から鈴蘭灯とも云いました。年配の人には懐かしい言葉です。街路灯はそれぞれの商店街の発展会が建設をしています。建設時に商工会を通じて県の補助をいただき、建てられていますので、その関係から商工会の所有となっていますが、電気料、球の交換等の維持管理は各発展会が行っています。現在、蟹江町全体で、614 本の街路灯があります。そして、その照明は、ほとんどが水銀ランプです。水銀ランプが切れた時に球替えをする訳ですが、最近、水銀ランプに変わる LED ランプが開発され、器具はそのまま、少しの工事は必要ですが、球だけ替えるだけで LED 化が出来るようになりました。

LED ランプに替えますと、そのメリットは消費電力が少ないので電気料が安い。長寿命である。水銀などを使っていないので環境に良い。と色々あります。しかし問題はコストです。最近、LED 電球も安くなってきたように、安くはなってきましたが、まだまだ高額です。水銀灯 80W の値段は取り付け料を含み、約 1 万円ぐらいです。LED ランプは球だけで約 3 万円ほどします。街路灯は 2 灯式が多いので、2 灯付け替えますと、球だけで 6 万円以上の金額がかかります。しかし、電気料は約 10 分の 1 になると聞いていますし。寿命は水銀灯の 6000 時間に対し LED は 40000 時間ですので 6.7 倍という事になります。長い目でみて、先行投資と思えば、採算は合うかも知れませんが、導入には、初期投資に大きな金額がかかる事になります。

そこでお伺いをする訳ですが、町は街路灯の電気料の補助をしています。おおよそ、実際の電気料の半分ぐらいをされていると思いますが、現在、町の街路灯電気料の補助の総額はいくらか。お尋ねをします。

次に、つい最近知ったところですが、蟹江町もLED街路灯の新設には、蟹江町単独で、6万円の補助が出ると聞きましたが、何時から実施されているのか。又、他の市町でも補助を行っている自治体があると聞いていますが、近隣の市町ではあるのか、ないのか。又、あるとすればその補助はその自治体単独なのか、県、国の制度を活用したものか、お伺いします。先ずこの2点をお伺いします

3点目は、町は防犯灯も含めLED化をどのように捉え、考えておられるのか。お伺いをします。